

地域材使用に関する共通ルール、  
具体的取り組み内容が確認できる  
よう、使用部位、使用量、使用割  
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式  
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位  
に違いがないが確認してください。

(様式4)

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書】

対象住宅の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「田子郎、田子子」のように記入してください。  
売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

共通ルールで定めた 使用部位 (注3)		材積 (注4,5,6,7)				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量 (B)				共通ルールで定めた使用割合、使用量	
		対象部位毎の使用量の 合計 (A)				単位					
柱		3	8	2	m3	3	1	2	m3		
梁		6	5	7	m3	3	4	2	m3		
桁・土台		1	2	4	m3	0	0	0	m3		
					m3				m3		
合計		1	1	6	3	m3	6	5	4	m3	
対象木材の使用割合 (B/A×100)								5	6	%	主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に地域材を使用
小数点はこの位置。											

記入例 1

共通ルールの内容  
主要構造材(柱、梁桁、土台)の過半にグループ指定の  
地域材を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する。

共通ルールや対象部位  
の集計方法に応じて部  
位名を修正してくださ  
い。  
・「梁」と「桁」を  
→「梁・桁」に修正  
・「柱」と「土台」  
だけに修正  
など

「0m3」であっても  
「0」と単位の「m3」  
を記入してください。

共通ルールで使用割合を  
定めている場合は、使用  
割合(%)を記入してく  
ださい。  
小数点以下は切捨て  
です。

共通ルールの「仕上  
材」を記入。

共通ルールに応じて単位  
を記入してください。

共通ルールを記入してく  
ださい。

記入例 2

共通ルールの内容  
仕上材に地域材を10m2以上使用する。

共通ルールに応じて単位を  
記入してください。

使用割合を共通ルールで定  
めていない場合は記入不要  
です。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合わせて集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】住宅 地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

1枚に記載できない場合は、この様  
式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H26】住宅と記載されている様式を  
使用してください。

地域材使用に関する共通ルール、  
具体的取り組み内容が確認できる  
よう、使用部位、使用量、使用割  
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式  
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位  
に違いがないが確認してください。

(様式4)

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書様式4】

・対象住宅の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は  
売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

共通ルールで定めた 使用部位 (注3)	材積 (注4,5,6,7)								共通ルールで定めた使用割合、使用量		
	対象部位毎の使用量の 合計 (A)				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量 (B)						
				単位				単位			
母屋		0	8	2	m3		0	8	2	m3	
棟木		0	2	8	m3		0	2	8	m3	
垂木		1	2	4	m3		1	2	4	m3	
間柱		1	4	8	m3		1	4	8	m3	
合計		3	8	2	m3		3	8	2	m3	
対象木材の使用割合 (B/A×100)							1	0	0	%	母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用
合計											
対象木材の使用割合 (B/A×100)										%	
構造材(柱・梁桁・土台)						1	0	6	7	m3	
2次部材 (母屋・棟木・大引・束)						4	3	5		m3	
羽柄材(根太・垂木)						0	5	0		m3	
仕上材(床材)						0	7	2		m3	
合計						1	6	2	4	m3	
対象木材の使用割合 (B/A×100)										%	

記入例 4

共通ルールの内容  
延べ床面積1m2あたり0.12m3以下

共通ルールで定める使用割合、使用量

延べ床面積 123.32㎡  
123.32㎡×0.12㎡/㎡=14.79㎡<16.24㎡ ∴OK

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてくだ  
さい。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう  
集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用  
する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工  
法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枅、上下枅	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄には対  
象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の  
使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

在来工法等

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】住宅 地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

記入例 3

共通ルールの内容  
母屋、棟木、垂木、間柱の全てに地域材を使用する。

記入例 4

共通ルールの内容  
延べ床面積1m2あたり0.12m3以上の地域材を使用する。

共通ルールの適合が確認で  
きるよう計算式を記入して  
ください。

共通ルールでは部位を  
指定していないが、対  
象とした部位を記入し  
てください。

使用する様式は正しいですか。  
【H26】住宅と記載されている様式を  
使用してください。

地域材使用に関する共通ルール、  
具体的取り組み内容が確認できる  
よう、使用部位、使用量、使用割  
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式  
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位  
に違いがないが確認してください。

（様式4）

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書】

記入例 5

・対象住宅の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「田田」のように記入してください。  
売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量計画表（注1,2,3）

共通ルールで定めた 使用部位（注3）	材積（注4,5,6,7）								共通ルールで定めた 使用割合（注3）		
	対象部位毎の使用量の 合計（A）				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量（B）						
				単位				単位			
柱		3	8	2	m3		3	8	2	m3	杉を100%使用
梁・桁		6	5	7	m3		3	4	2	m3	3.42/6.57=52% ≧ 50%
土台		1	2	4	m3		1	2	4	m3	
合計	1	1	6	3	m3	8	4	8	m3		
対象木材の使用割合 (B/A × 100)							7	2	%		柱・梁・桁・土台の70%に地域材を使用
合計											
対象木材の使用割合 (B/A × 100)									%		
下地材 (間柱・内部胴縁・天井野縁)						2	3	8	m3	下地材	
仕上材(カウンター材)						1			ヶ所	仕上材は1ヶ所以上(床材、壁材、カウンター材等)	
合計											
対象木材の使用割合 (B/A × 100)									%		

記入例 6

共通ルールの内容  
下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用し、仕上材  
は1ヶ所以上（床材・壁材・カウンター材等）に使用する。

対象とするものに共通  
ルールを記入してください。

共通ルールで定めた部位  
のうち、対象とした部位  
を記入してください。

（注1）地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。（使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。）

（注2）共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

（注3）地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材（柱・梁・桁・土台）の過半に地域材を使用する必要があります。

（注4）工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材（柱・梁・桁・土台）を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枠、上下枠	床根太、端根太※1	頭つなぎ	土台※2

※1 1階（最下階）床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

（注5）木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

（注6）共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、（A）欄には対象部位の木材の全使用量を、（B）欄には（A）欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

（注7）共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、（A）欄は空欄とし、（B）欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

（注8）共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

在来工法等

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】住宅 地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

使用する様式は正しいですか。  
【H26】住宅と記載されている様式を  
使用してください。



地域材使用に関する共通ルール、  
具体的取り組み内容が確認できる  
よう、使用部位、使用量、使用割  
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式  
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位  
に違いがないが確認してください。

(様式4)

1の対象住宅・建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象住宅・建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請書】

記入例 7

・対象住宅の建築主

建築主氏名	◆田 ■郎、◆田 ●子
-------	-------------

↑ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は「田 郎」と記入してください。  
売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・地域材を利用する部材の使用量計画表 (注1,2,3)

共通ルールで定めた 使用部位 (注3)	材積 (注4,5,6,7)				共通ルールで定めた使用割合、使用量					
	対象部位毎の使用量の 合計 (A)				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量 (B)					
				単位				単位		
柱	3	8	2	m3	3	8	2	m3		
梁・桁	6	5	7	m3	3	4	2	m3		
土台	1	2	4	m3	1	2	4	m3		
合計	1	1	6	3	m3	8	4	8	m3	
対象木材の使用割合 (B/A × 100)									%	
主要構造材 (柱・梁・桁・土台)	1	1	6	3	m3	8	4	8	m3	
2次部材 (母屋・棟木・大引・束)	6	3	5	m3	6	3	5	m3		
2次部材 (間柱・筋交等)	2	8	3	m3	2	8	3	m3		
合計	2	0	8	1	m3	1	7	6	6	m3
対象木材の使用割合 (B/A × 100)									%	
合計										
対象木材の使用割合 (B/A × 100)									%	

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。

(注3) 地域材利用に関する掛かり増し費用に対する補助の加算を受ける場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に地域材を使用する必要があります。

(注4) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。      ※2 大引は含まれません。

(注5) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注6) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄には対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注8) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H26】住宅 地域型住宅ブランド化事業 地域材使用量計画表

共通ルールの内容  
主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上に地域材を使用する。主要構造材と合わせて構造材全体で80%以上に地域材を使用する。

前段の共通ルールを記入してください。

共通ルールに応じて集計し、  
使用割合も算定してください。

後段の共通ルールを記入してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H26】住宅と記載されている様式を使用してください。